



# NEWSLETTER

## ITC-J Council No.2

### 第 39 期テーマ

## つなぐ心 つなぐ伝統 つなぐ知恵

離れてつながる ～模索する日々を経て～

カウンスル No.2 第 39 期会長 播磨 由美子



期待を持って迎えた令和時代 2 年目の年明けには予想だにしなかった新型コロナウイルス感染が世界を駆け巡りました。ITC-J の年次大会、スピーチコンテストの中止に伴い、第 2 回会合で皆様が楽しみにしておられたスピーチコンテストも結果として中止に至ったことはとても残念に思っております。会合に向けて懸命に準備していただいたスピーチコンテスト委員会と宝塚、三田両クラブによる準備委員会の皆様には本当に申し訳ないことでした。当たり前だと思っていた日常生活がわずか数日で必要最低限に縮小されました。未だ正解のないこのウイルスが放つ影響への対応という難問には個々が

勇気と希望をもち、多様な観点から知恵を出し合うことが不可欠です。模索する数か月を経て私たちは鍛えられました。離れてつながる。このピンチに No.2 ではラインもしくはメールで役員会や例会を、また 2 クラブが Zoom での例会を持たれました。

残されたひと月余り、役員会は次につなぐ希望と勇気を持って積み重ねられた伝統と知恵、教訓と実例を生かして今期を締めくくりたいと思います。

異例の期にすべてのクラブ、そして常任委員会の皆様、役員の皆様には多大なご協力をいただきました。心から感謝と御礼を申し上げます。

## ITC-J 第 38 期テーマ : 心機一転 Guiding the Way

### ITC-J 宣誓

我々、インタラクティブ トレーニング イン コミュニケーション ジャパンのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

We, as members of Interactive Training in Communication-Japan, hereby pledge to improve our communication and leadership skills, in order to achieve greater understanding throughout the world.

## カウンスル No.2 第 39 期 役員会・委員会年次報告 (2019～2020)

ITC-J カウンスル No.2 第 39 期役員会は

選出役員:会長 播磨由美子(甲南) 第一副会長 浅井淑子(甲南)  
第二副会長 横田佳世子(イースト神戸) 書記 中村記子(六甲)  
会計 清水陽子(三田)

任命役員:議会議法規役員 船橋侑子(阪神) 編集者 鶴山紀子(甲南)により

テーマ「つなぐ心 つなぐ伝統 つなぐ知恵」の下に、以下の通り活動した。

1. 今期は 9 クラブ 110 名でスタートし、現在 9 クラブ 109 名である。
2. 令和元年を迎え、大きな時代の変化に対応すべく心一つに人と人との繋がりを大切に協力し合い、カウンスル No.2 の伝統を次の時代に繋ぐことを目指した。
3. 会員同士のより深い交流を促進するため、他クラブ他カウンスル訪問を奨励した。  
他クラブ他カウンスル訪問カードを配布し、期末に訪問回数の多い順に記念品を添えて 3 名を表彰した。
4. クラブ会長会を 1 回開催した。
5. ニュースレターは 3 回発行した。
6. 役員会は 10 回開催した。内 2 回はメールで行った。今後最終役員会及び次期役員との引継ぎを行う予定である。
7. 神戸ポートピアホテル担当者より依頼されていた ITC-J パック増額要請を受け、9 月 5 日カウンスル会合費を 500 円増額、5,500 円にすることを決定した。
8. 眉山クラブに創立記念会合のお祝いカードをメール送信した。
9. カウンスル会合は、1 回開催した。  
第 1 回会合 2019 年 11 月 19 日(火)神戸ポートピアホテル「レインボーの間」  
プログラム  
第 1 部 グループリサーチ クラブ混合 3 チームによる発表  
テーマ:AI(人工知能)  
第 2 部 講演 「AI は私たちの生活をどう変える」 AI 研究者 大西加奈子氏
10. 第 2 回カウンスル会合は新型コロナウイルス感染拡大により一時延期後中止と決定し 4 月 1 日、各クラブに報告した。次期役員候補者選挙は通信で行い、会則 7 条 7.4.2.に則り各役職に 1 名のため 4 月 24 日に承認された。第 2 回会合に提出されていた会則 11 条 11.2.2.a.および細則 6 に対する修正案は会合中止のため取り下げられ、役員就任式とスピーチコンテストも中止になった。
11. ホテル玄関に掲げていた ITC ロゴのレリーフを ITC-J ロゴに掛け替え、カウンスル No.2 のプレートを掲げた。
12. CMT は今後協議して決定する。

以上

カウンスル No.2 書記 中村記子

承認: 2020 年 6 月 8 日

会長: 播磨由美子

**会計監査 山崎 眞知 (宝塚)**

岡村 洋子(阪神) 中西 眞佐子(京都)

今期は中間決算までは全て予算内で推移しており、期末の監査は会計からの要請を受け、決算書を精査し署名を致します。監査報告につきましては来期となります。

**予算・財務 梶木 博子 (御影)**

善塔 貴美子(阪神) 西田 加代子(三田)

第 38 期決算報告書を基に今期役員と委員会のご希望を伺い、会長のご意向のもと予算を組みました。編集、会報の科目に関して前期同様の作成方針とのことで、前年度の決算額を参考に見直しを、又ウェブサイト委員会や CMT の科目も予算を増やしました。今期新たに資料部を科目に加え、計上致しました。残念ながら第 2 回会合は中止となりましたが、中間決算報告書からも会員の皆様にも有効に活用されており、来期に繋がればと願います。

**会則・決議 加藤 啓子 (甲南)**

酢谷 道子(甲南) 角田 亘子(御影)

第 2 回会合に向けて、カウンスル会則及び細則に対する修正案の提出があり、全クラブへ送付いたしましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、会合開催が中止となりましたので、提出者は修正案を取り下げられ、来期、改めて提出される結果となりました。提出クラブのご協力に感謝申し上げます。

**会員 横田 佳世子 (イースト神戸)**

中里 左知(イースト神戸) 辻坊 洋子(イースト神戸)

今期は全カウンスルの第二副会長が ITC-J の会員委員となり、会員増強のためのイベント開催に向けて準備して参りましたが、コロナ禍で延期中止となりました。カウンスル内では、他クラブ他カウンスルへの訪問を奨励し、3 月末までの以下の最多訪問者上位 3 名の功を評し記念品を郵送にて贈呈しました。1 位 六甲クラブ 横山末子会員 13 回、2 位 宝塚クラブ 田中やよい会員 11 回、3 位 宝塚クラブ 西本敬子会員 9 回

**プログラム・教育 浅井 淑子 (甲南)**吉田 浩子(京都) 若林 裕子(甲南)  
高畠 季子(御影) 福田 田鶴子(三田)

第 2 回会合はスピーチコンテストのスピーカーや SC 委員会の周到な準備も進んでいながら新型コロナウイルス感染の影響で中止となり大変残念な事となりました。ただ第 1 回会合はクラブ間交流を考えた 3 グループの AI についての発表が素晴らしく成果を上げ、AI を易しく教えて下さった大西講師の講演会も好評で予想以上の評価を頂け、プログラム委員会の努力が報われ安堵致しました。各お役では皆様のご協力を頂きまして心から感謝申し上げます。

**スピーチコンテスト 高木 清子 (京都)**旭 榮(阪神) 筆本 美智子(イースト神戸)  
大江 己都子(京都) 井上 明子(甲南)  
横山 末子(六甲) 柏原 加代子(三田)

1. SC 委員会は 8 月 28 日、3 月 3 日の 2 回、定足数を満たして開催された。9 クラブの内、8 クラブからクラブ選出者・代表者のエントリーがあった。
2. 第 2 回会合が 4 月から 5 月に延期となり、その後 ITC-J 大会中止に伴いカウンスル SC 開催も中止と決定した。
3. No.2 ニュースレター第 3 号にクラブ選出者・代表者の原稿掲載、ITC-J 冊子第 3 号に氏名及び論題と題目が掲載される。

**ウェブサイト 正明 裕子 (御影)**深澤 佳代子(神戸) 梶木 博子(御影)  
南野 利江(御影)

会長、役員会の皆様の要請により、随時、ウェブサイトに掲載いたしました。今期は残念ながら、新型コロナウイルス緊急事態宣言により、カウンスル第 2 回会合は中止になりましたが、カウンスル第 1 回会合の記録をウェブサイト掲載するため、会員同士で、メール、電話で、お互い連絡を取りながら編集いたしました。また、新しく、ウェブサイト委員会にご参加くださる方を望みます。

**ITC-J 資料部員 藤之原 仁美 (三田)**

第 1 回会合において 6 クラブに請求頂いた物品をお渡しすることができました。残念ながら、第 2 回会合は新型コロナウイルス拡大によるリスク回避のため中止となりましたが、1 クラブから請求があり郵送させていただきました。お預かりしている物品は、次回担当の資料部員の方に引継ぎをいたします。また、物品代は ITC-J 事務局へ速やかに送金いたします。

**第 40 期 選出役員(2020~2021)**

会 長	高階 睦子(神戸)	書 記	中西 眞佐子(京都)
第一副会長	南野 利江(御影)	会 計	田中 やよい(宝塚)
第二副会長	梶木 博子(御影)		

延期から中止へ・・・とカウンスル No.2 第 39 期スピーチコンテストは幻のごとく消えました。クラブの声援を背に、何ヶ月も前から準備をしてこられたスピーカーの心中を思うとき、ただ一言「無念」としか言いようがありません。そして「聴きたかった！」と心底思います。委員会も昨夏より着々と準備を進めてきました。あと一步という矢先の緊急事態宣言にひと時茫然としました。私たちの努力は無駄だったのでしょうか。無駄どころか準備そのものが大きな学びであったのだと、今は考えています。日頃の学習成果を披露する年に一度の大切な機会は幻と消えましたが、危機に直面した時にこそコミュニケーションがより重要だと教えられました。「語りかける優しさ」と「受け止める謙虚さ」が、人と人を繋ぐコミュニケーションの重要なポイントです。思いを言葉にして伝える学びに終わりはないと感じています。



## スピーカー(英語の部 2 名・日本語の部 6 名) & スピーチの内容



今城 八洲子(神戸)

論題: Treasure

題目: Words as they are

About 25 years ago, I happened to encounter my old friends at different chance whom I hadn't seen for a long time, there I was told how they had appreciated my generosity. Even now they still keep on saying their gratitude of my deed to let them use my notebooks. One was my junior high-school friend who moved to Kobe and worried about English classes at new school. The other one was my university boy classmate who desperately needed to pass some required subjects. When I heard their memories on me which I hardly remembered, at first, I was genuinely surprised at their words which sounded too much for me, but gradually I understood how they were in trouble, then. And at the same time I appreciated their courage to show me their feelings. Now I accept their words as they are, and keep them in my mind as my treasure. It is so nice to know, however small it is, that I did something good to somebody and I have been a part of somebody's memory for a long time.

言われなければ思い出すこともない小さな出来事をずっと覚えていてくれ、何十年も経ってから伝えてくれた友人。そんなことで、と戸惑うばかりだったが次第に素直にその感謝の言葉を受け止めるようになった。寧ろ彼らの気持が有難くて私の宝物になっている。



横田 佳世子(イースト神戸)

論題: Robot

題目: Into the Unknown

In Disney movie "into the unknown", Elsa and her sister Anna took the adventurous journey to the unknown world and in the end they found essential things for them. There are many unknown matters and things around us. AI and Robot are still very much unknown for me. When I was kid I believed the life in the future will be just like that of "Space Family Jet Son". Automatic wake up system wake me up every morning. That was my dream. Robotics is progressing remarkably. Now AI lording robot is applied in various fields. In elderly care field, labor shortage becomes more and more serious. Robot plays an active role in it, too. The communication robot Papero can support seniors living alone. It can talk, check the user's health, send the users information and pictures to their family. They are very much unknown for you, but easy and useful. My dream will also soon be put into practical use. Don't be afraid, take courage, and let's go "Into the Unknown".

「未知の世界へ」: ロボットや AI は私達にとってまだまだ未知の部分が多いですが、アレクサや介護ロボットパペロなど、使いこなせればとても便利で役に立ちます。勇気をもって未知の世界へ一步踏み出してみましよう。



岡村 洋子(阪神)

論題:約束

題目:勝手に約束

大正 4 年大阪生まれの母は、長女で周りから大切にされ美しい大輪の花のような娘時代を過ごし、明治の士族の祖母から長男の嫁にと土下座せんばかりに三顧の礼で迎えられたにも拘らず、その結婚生活たるや思い通りにいかないことの連続で勝気な母は「天(てん)の神(かみ)さん見てはる」と歯を食いしばってきたと想像します。私の子供時代も母の言う「てんのかみさん」がよく出てきました。人生 100 年時代といっても 70 代はさすがに第三コーナーを曲がり、直線に差し掛かったところでしょうか。俳人の富安風生(とみやすふうせい) 80 歳の句に「生くことやうやく楽し老いの春」がありますが 私は今まさにこの気分です。親も連れ合いも見送って一人になった今、夕方の空に向かい、「てんのかみさん」と約束しています。一生懸命生きていきますので見守ってくださいね。せつかく健康でいい体でこの世に送っていただいたのですから、寿命がきたらいい体でお返ししに行きますよと勝手に約束して過ごしております。♪今はもう秋・空に約束したから 一人でも 一人でも 死にはしないと・♪



中川 愛子(京都)

論題:縁(えにし)

題目:ひこばえ

人生は出会って来た人との連なりと申しますが、京都との縁を頂き、長く住むようになり様々な人とご縁が出来てお出会いが増しました。殊に、41 年前に出会ったトーストミストレスでは更に多くの人々と出会う機会を頂きました。そして、この会での学びは私の日々の生活を楽ししくしてくれました。高齢となりある日、目に止まった文字、それは「ひこばえ」です。「ひこ」は孫のことで元の幹から小さな芽が生えてくることを[ひこばえ]と言います。トーストミストレスも ITC-J となり名称も組織も変わりましたが、「ひこばえ」となり、これからも多くの会員との出会いが叶い、新しい芽が生えて来るよう願っています。



後藤 容子(甲南)

論題:変化

題目:変わりゆく日本語

日本語は書き言葉、話し言葉が世界的に難しいといわれています。戦後 GHQ から漢字廃止論が出されました、その時日本は拒絶しました。なぜなら漢字の多くは日本が独自に作ったものだからです。戦前、私の小学校一年の国語の教科書はカタカナで「サイタ、サイタ、サクラガ、サイタ」でした。その後ひらがな漢字と学んできましたが、時代が変わり日本語は徐々にグローバル化して、英語の略字や表示がやたらと多くなりました。JOC、ATM、NBA まだあります ETC、ITC、ICT、IT、AI 等きりがありません、我々高齢者は取り残されないよう変わっていく日本語に順応しなくてはなりません。



柚本 加代子(六甲)

論題:イノベーション

題目:災害からの 1 年

今年は阪神・淡路大震災から 25 年になります。かつて経験したことのない都市災害として社会に大きな衝撃を与えました。多くの犠牲を生んだ災害でしたが、これを教訓に取り組んだイノベーション即ち刷新や新機軸の数々は東日本大震災にも生かされましたし、明るい未来へとつながっているものが沢山あります。その中から、消防局関係・市民の生活面「自助、共助、公助」から生まれた法律・神戸市の産業医療都市構想などの情報をお伝えして“ピンチはチャンスです”と結びました。コロナ禍後の社会が問われている今、どのようなイノベーションが生まれるのでしょうか？



梶木 博子(御影)

論題:新時代

題目:頑張ろう！高齢者

これからの新時代は、人生 100 年の超高齢化時代でもあり、技術の目覚ましい進歩により、私たちを取り巻く社会や身近な生活は大きく変化することでしょう。特に私たち高齢者は、新しいものの捉え方や技術を習得する順応性を必要とされ、生涯学習が不可欠と言われています。しかし先進国の中では、高齢者の生涯学習への参加率や内容の質は、今の日本全体では、とても低い水準との報告があります。5G 等の実現による便利で快適な新時代を高齢者が受け入れるには困難ですが、おいていかれないよう頑張ると同時に、ITC-J のような生涯学習を続け、多種性や多様性を認めながらも周りの人々を思いやる豊かで強い心を持った人々であふれる社会になるよう高齢者として生きていきたいものです。



我が家は山間にある田んぼと畑に囲まれた自然豊かな所です。ある朝、風もないのに一カ所だけゆっさゆっさ。覗きに行くとネットに絡まって農道を塞いでいるのは 立派な角の大きな雄鹿でした。勿論、電気柵はしています。金網ネットに鹿よけネットを上継いで山裾に張り巡らし防いでいます。一年はそれで過ごせるのですが、翌年からはそういきません。稲作、大根、白菜など、猪と鹿に荒らされて収穫は半減します。兵庫県のホームページでは猪 1 億 8 千万円、鹿 1 億 7 千万円、多くの農林業者が泣いている数字です。猟友会にお世話になりながらご近所の方と連携を取り、猪と鹿と「知恵比べ」しながら、これからさらに「戦い」、自然と農業を守っていきます。

## 今だからこそ心を繋いで ～新型コロナウイルス禍にあって～

3 月以降クラブ例会が休会になり、『集う』という当たり前の日常が失われていた時、この時をどう過ごし、どのようなことを考え、何を伝えてこられたかななどをクラブ会長におたずねしました。

### コロナに気付かされたクラブの輪 阪神クラブ第一副会長 朝田 美恵子

コロナ感染拡大中にもかかわらず、阪神クラブ 3 月例会は全員マスク着用で無事に通常例会を終えることができました。4 月は休会となり、心待ちにしていた京都での 5 月特別記念例会もメール例会でビジネスのみとなりました。予定も計画も儘ならずになりましたが、心機一転、

役員会とプログラム委員会は連携を保ちつつメール委員会にて、6 月メール例会を準備しました。通常例会と内容は同じ進行で、ビジネス後に 55 周年を迎えての作品募集のプログラムを行いました。ジャンルを問わない自由課題の作品で川柳、詩、エッセーなど皆の思いが集約された見事な作品が並びました。これらは、55 周年記念冊子として、今期中に完成させる予定です。コロナ禍の中、会員 17 名のクラブの輪の大切さをつくづく考えさせられました。休会で流れた後期一押し『SDGs』持続可能な 17 の開発目標のプログラムは、来期に引き継いでいただきたいと願っています。

### 休会中に感じたこと 神戸クラブ会長 立花 眞琴

みんなで集まって話がしたい、会いたい人に会えない、悲しいことです。私たち ITC-J の会員は、出会いの素晴らしさを享受しています。しかし新型コロナウイルスの蔓延で予想を超えるスピードで世界が様変わりしてしまいました。コミュニケーションの方法も多彩になり、テレワーク、ビデオ会議の時代になっ

てきました。ITC-J としては今までのように集まって会議をするという方法だけではこれからの社会に順応できないのではないかと、対面とオンラインの二本立てが必要な時代になりました。テレワークにもメリットはあります。ITC-J の会員は高齢化しつつあり、出席困難な場合でもオンラインなら自宅から参加できます。

今回の新型コロナウイルスに対する対応を見ていると、各国の指導者のリーダーシップと決断力が露わになりました。日本人は、資質が高く勤勉で素晴らしい国民です。この機会に政治体制を見直し、時代に即した新しい組織を作り、教育に、医療の充実に、もっと予算をつぎ込んでほしいです。日本のハイテク産業、デジタル技術の更なる躍進の機会と捉えたいです。今こそ国民が、ITC-J が、みんなで頑張りましょう。

### Zoom 例会 イースト神戸クラブ会長 筆本 美智子

イースト神戸クラブでは、3 月から通常の例会はできなくなり、3 月はメールでビジネスのみを行いました。4 月は国立文楽劇場で文楽を鑑賞する予定でしたが、公演自体が休演となりました。5 月も何も

なく過ぎるかと思っておりましたが、会員の一人が Zoom 例会を提案して開催してくれました。何しろシニアが多く、始めるまでにはいろいろありましたが、11 人全員が Zoom で顔を合わせました。有名人の英語のスピーチを 2 ページくらいに纏めて発表し、それにコメントをするというプログラムでした。全員が参加し、ヘレン・ケラー、ビル・クリントン、ヒラリー・クリントン、ザッカーバーグ、ディカプリオ、ビル・ゲイツ、チャップリンなど錚々たる有名人のスピーチがそろいました。少し難しかったですが、It was a great success. ということでした。予定通りとはいかず、来月に続きをすることとなりました。早くコロナ騒ぎが終わり、全員が顔を合わせてプログラムのできる日を楽しみにしております。

### 新型コロナウイルス禍の中で 京都クラブ第一副会長 大野 三恵子

「京都クラブメンバーの皆さま、朝の光で目覚め、温かいお茶を入れ、冷蔵庫から食材を出す。このような日常生活が、25 年前の冬は、数ヶ月間できなかったことを思い出します。自然災害は、受け身ですが、自粛は、自らの判断で行います。一人称、二人称、

三人称の健康を守るため、5 月例会に関する連絡をいたします。添付ファイルをご確認くださいようお願い申し上げます。菅田貴子会長の言葉により、再び 5 月例会の開催中止通信が配信されました。2 月例会

のスピーチコンテストを無事に終えた後、新型コロナウイルス感染拡大による自粛体制が始まりました。役員会はメール通信により、その都度例会開催について検討し、3月、4月、5月例会を通信による例会としました。その間、議事録承認や諸報告が行なわれ、クラブ指名委員もメールにより選出され、委員会は速やかに次期役員を選出し、承認されました。上部レベルとの連携も、今までになかった初めての試練に、私たちはこれまでに学んだ組織運営法を実施しています。皆様との再会を祈りながら。

## 忘れられない2月例会

甲南クラブ会長 伯井 睦子

コロナウイルス感染が徐々に拡大しているとは言え、兵庫県には未だ感染者が出ていなかった2月27日(木)甲南クラブはオープン例会を開催しました。ゲスト、会員には、決して無理をせず自己責任で出席可否を判断する様にと伝えた例会でした。休憩時間には窓を開け換気をし、儀典が消毒液を用意する等、今となつては、甲南クラブの歴史上忘れられない例会となりました。その後、3月、4月、5月例会は休会となりました。休会の間は、役員会で、例会予定日に向けての議事をメールのみで検討を行ないました。言葉でなく全てを文章で伝える事の難しさを体験しましたが、月毎に会計報告書と議事会議録をメールで会員に届けました。大変だったのは選挙でしたが、会員の皆様の絶大なご協力のお陰で全く問題なくスムーズに終える事が出来、感激いたしました。外出制限が長引く中、不便で不安な日々の中でも休会中の会員間の連帯意識を持続・共有できる様にベストを尽くす事が会長として一番の課題であった様に思います。

## 全員で乗り越えた危機

六甲クラブ会長 橋本 めぐみ

新型コロナウイルス感染の第一報を受けて以来、日々、世界的な蔓延の猛威と悲劇を目撃することとなりました。初めて経験する事態であり不明なことが多いため、油断せずに出来る限り情報収集と状況把握を心掛け、感染予防に努めました。

3月以降、六甲クラブでは役員会、例会の中止提案に対し、すぐに会員の賛同が得られたことから、例会中止の判断は迅速であったと思います。休会中は、例会予定日には「会長挨拶」を送信し、コロナウイルスの情報などを伝えるようにしました。また、役員と共に休会中の経緯と決定事項を一つの報告書にまとめ、全員に送信することで会員とのコミュニケーションを図り、同時に、記録として保存できるようにしました。会員の安否については、メール送信や電話で確認するように致しました。会員全員が元気で緊急事態を乗り越えることができたことが、何より有難いです。

## 花びらのようなルーージュはお蔵入りに

宝塚クラブ会長 田中 やよい

そういえばいつから化粧をしなくなっただろうと思い、手帳をめくりました。3月からまるでドミノ倒しのような斜線が4月、5月と続いています。そのほとんどが ITC-J 関連です。以前、当たり前前を向いて頑張っていた生活は、まるでスロージョギングの様だったと懐かしんでいます。ITC-J は大変だけど、めりはりがある生活に心が躍り、笑顔があふれ、煌めいていた思い出しています。例会が出来ないという初めての経験は、クラブの人を恋しいと思う気持ちに気づく機会となりました。会長としての考えや決断を、3人のベテラン会員が大きな心で受けとめて下さっています。役職に敬意を払って下さることに感謝しながら、今のこの待つ時間は決して空白の3カ月ではなく、私にとって一番試され、そして、育ててもらっている時のような気がしています。会えない時間が何かをはぐくんでくれました。「絆」でしょうか。この春、還暦祝いの赤い口紅、久しく出番はないでしょう。でも、自粛明けの再会の折、マスクの下のほっぺは薔薇色に染まっているでしょう。

自分のために  
みんなのために

コロナ禍をチャンスにかえる



## Zoom ミーティング

御影クラブ会長 辻 良子

新型コロナ感染が中国の武漢から始まり、あっという間に日本に世界へと広がっていきました。中国の武漢市がロックアウトされ、テレビで市中を消毒している大掛かりな映像を見て、恐怖と驚きで愕然としました。ITC-J も会合、例会など次々と中止になりました。クラブでも公共施設が閉鎖され中止を繰り返しています。まず3月役員会・例会が中止となり、クラブではメール例会をすることにしました。私は今期の例会開催はできないと予感していましたので、3月～6月までの行事予定を表にしてみました。決定し報告しなければならぬ事項を一度に決めていただくと考えましたが、一度に決めてしまう方法は不評でした。勇み足だったようです。意気消沈…。しかし、PCでの交信は常に行われていました。そんな折、クラブでラインのメールや動画が飛び交うようになり、籠の鳥のような毎日を過ごしている私たちに、笑いあり、感動あり、目の前に会員が見えるようになりました。そして Zoom ミーティングが始まりました。いつコロナ感染症が終息するかわかりませんが、役員会だけでもビデオミーティングでこの非常時を皆で乗り切っていこうと決めました。御影クラブは永遠に不滅です。

## 人には見えないウイルス 三田クラブ会長 大西 奈香子

人類が始まって以来の困難な出来事です。2月以降、世界はコロナ一色と化しました。スポーツを始め、全てのイベントや活動はオミットされ、街はゴースト化、静かな町になりました。特に日夜働く医療従事者の皆様は感染と隣り合わせ。また、未知のウイルスと戦って下さる関係者の方々へ心から感謝し、感染拡大の収束を願いながら、この様な状況であっても外でインフラを支えているの方々へ強く感謝です。

中でも、日本人の勇氣ある行動には大変感動しました。テレビでご覧になった方も多いと思いますが、イタリアのある病院の屋上から医療関係者の方々へ感謝の気持ちを込めて、日本人ヴァイオリニスト横山令奈さんが演奏された時、周囲の人たちは涙を流されていました。私も胸が熱くなりました。日本人としてとても嬉しく、本当に感動しました。これからは、コロナ時代に新しい生活を模索しながら、自分を守り、周りの人も守り、目に見えないウイルスと戦って過ごしていきたいと思えます。



### 教育



## 引き継ぎ ～歴史を紡いで～

京都クラブ 常田 道子

「各役員/各委員会の引き継ぎ書類などは、会長の指示に従い 8月1日までに後任者に引き渡す」という項目は、各レベル会則に必ず含まれています。その主なものは、以下の通りです。

年次報告書＝年間に行った主な活動、現状、目立った成果、問題点とその解決のための方法、次期への勧告などを含みます。およそ 1 ページに纏めます。書記の年次報告は会報に掲載されますので参考になるでしょう。

### 永久保存記録

カウンスル＝例会議事録、その他重要なもの。

ク ラ ブ＝例会議事録、認証状、その他重要なもの。

委 員 会＝その委員会の重要な記録、会則に則って開催された特別会合議事録。

### 引き継ぎ方法

現任者は後任者と共に、ファイル、資料、備品などについて、説明。確認しあいながら引き継ぎます。

- ・ファイルには、永久保存記録等の他に年間予定表、活動記録、経験による アドバイスなども入れ、後任者が活動しやすいように配慮します。
- ・前年度の「引き継ぎ報告書」との照合もします。いつの間にか紛失してしまうものがないように細心の注意をしましょう。これらは個人のものではなく、役目柄一時的に預かっているものなのですから。
- ・点検、整理し、不要のものは処分します。委員会報告書の控えなど永久保存の必要のないものは過去 2 年分ぐらいを参考のために残し、あとは作成した人に返すということも良いでしょう。
- ・「引き継ぎ報告書」を 3 部作成し、お互いに確認の署名をして、現会長に 1 部提出、後任者のファイルに 1 部、後任者が 1 部保持します。
- ・現任者は後任者にファイルを渡すだけでなく、詳しい説明を加えます。

### 大切なこと

引き継ぎは、後任者が任務を全うできるようにという温かい思いやりさえあれば、また、組織として正しい歴史を刻んでいくという任務さえ忘れなければ、きちんと手順を踏み伝えられていくものです。社会でも引き継ぎは役目の交代があるときには必ず求められます。ITC-J を守るという心を大切に引き継いでいきましょう。

### 編集後記

『組織も人も、集まっては散じ、そしてまた出会うことを繰り返して活力が生まれる』。長い自粛期間は、退屈で無意味なように思えましたが、気づきがあり、新しい何かを見出す時であったのかもしれませんが。次にお目にかかれる時は、ひと味違う活力に満ちた集いになりますように。一年間のご協力に心から感謝を申し上げます。 編集者: 鶴山紀子(甲南) 木下恵美子(阪神)

